

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成29年7月21日

計画の名称	1 安全・安心の公園づくりと市民のふれあいの場の創出（鴻ノ池運動公園）														
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	奈良市								
計画の目標															
本市の都市公園は、供用してから長期間が経過した公園が多くあり、施設の老朽化が進んでいる。このような状況の中、利用者の安全で安心できる環境を確保するために公園施設の長寿命化計画を策定し、施設の老朽化に起因する事故を未然に防ぎ、利用者のニーズにそぐわなくなっている施設を安全・安心して利用できるよう公園管理を図る。 また、幅広い年齢層の来園者同士が交流とスポーツを楽しむことのできる空間を創出し、運動公園としての機能だけでなく、近隣住民の憩いの場としての機能の確保を図る。															
計画の成果目標（定量的指標）															
・鴻ノ池運動公園における利用者数を532千人（H21）から560千人（H26）に増加 ・市内都市公園の供用面積を729ha（H21）から734ha（H25）に増加 ・市内都市公園の長寿命化計画策定の進捗率増加															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考		
										当初現況値 （H21末）	中間目標値 （H23末）	最終目標値 （H25末）			
① 鴻ノ池運動公園の利用者数										532千人	540千人	560千人			
② 都市公園の供用区域の拡大 （市内都市公園の供用区域の増加率）＝（評価時点の供用面積－H21の供用面積）／（H21の供用面積）										729ha	731ha （0.2%増）	734ha （0.7%増）			
③ 都市公園の長寿命化計画策定の進捗率										0%	0%	70%			
全体事業費		合計 （A＋B＋C）		266 百万円	A	256 百万円	B	0 百万円	C	10 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	4.0%			
事後評価（中間評価）															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（中間評価）の実施体制								事後評価（中間評価）の実施時期							
奈良市都市整備部公園緑地課で実施								平成29年4月							
								公表の方法							
								奈良市ホームページで公表							
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
1-A-1	公園	一般	奈良市	直接	奈良市	都市公園事業（鴻ノ池運動公園）	公園整備 A=2.4ha	奈良市	H22	H23	H24	H25	H26	186	
1-A-2	公園	一般	奈良市	直接	奈良市	公園施設長寿命化計画策定事業	長寿命化計画策定 一式	奈良市						70	
合計													256		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	奈良市	直接		鴻ノ池運動公園施設整備事業	案内版改修、施設のバリアフリー化	奈良市						10	
合計														10	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	1-A-1と一体的に実施することにより、公園利用者の利便性を向上させる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 鴻ノ池運動公園整備事業を行った結果、公園利用者の利便性が向上し、利用者数も増加した。 ・ 公園施設長寿命化計画の策定事業を行った結果、健全度判定により適正な維持管理が推進できる。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（鴻ノ池運動公園の利用者数）	最終目標値	560千人	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業においても、公園の利用促進施策に取り組んだため。
		最終実績値	770千人		
	指標②（都市公園の供用区域の拡大（増加率））	最終目標値	734ha (0.7%増)	目標値と実績値に差が出た要因	目標値は達成した。
		最終実績値	735ha (0.8%増)		
	指標③（都市公園の長寿命化計画策定の進捗率）	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	平成25年度末に補正予算が交付されたため、平成26年度に予定していた都市公園の長寿命化計画を前倒しで策定する予定であったが、予算の性質上、長寿命化計画は執行することができなかった。そのため、都市公園の長寿命化計画は平成27年度に策定することになったので目標値を下回った。
		最終実績値	49%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・ 鴻ノ池運動公園施設整備により、運動施設の利用者だけではなく、近隣住民の憩いの場としての利用が増えた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
平成27年度に都市公園の長寿命化計画の策定業務を完了し、公園利用者が安全で安心して利用できるように、老朽化が進む公園施設を計画的に補修、改築および更新を実施し、適正な維持管理を推進する。					

市 街 地 整 備

